

みたか国際化円卓会議第 11 期 第 1 回会議録要旨

日 時	令和 2 年 1 月 23 日(木) 午後 6 : 30 ~ 8 : 00
会 場	国際交流センター会議室
出席者	委員 11 名 (欠席委員 2 名)、事務局 : 企画経営課長他 6 名、傍聴 : 1 名

【当日配布資料】

- 資料 1 第 11 期委員名簿
- 資料 2 第 4 次基本計画第 2 次改定 (国際化推進に関する部分の抜粋)
- 資料 3 みたか国際化円卓会議設置要綱
- 資料 4 みたか国際化円卓会議の活動実績一覧
- 資料 5 みたか国際化円卓会議 10 期報告
- 資料 6 近年の国際化に関する主な取り組み
- 資料 7 多言語観光マップ (未定稿)

【記号について】

・	委員の発言
→	事務局の発言

【議事内容】

正副座長選任までの間、平和・女性・国際化推進係長の國友が司会進行を務める。

- 1 委嘱状の交付
  - 2 副市長あいさつ
  - 3 委員・事務局の自己紹介
  - 4 正副座長選任・あいさつ  
座長 : 坂本 ロビン 委員、副座長 : 野村 隆志 委員に決まる。  
(以降、坂本座長が司会を務める)
  - 5 第 4 次三鷹市基本計画 (第 2 次改定) について
    - (1) 資料 2 を基に説明 (事務局)  
基本計画の概要 : これまでの取組と今後 4 年間の国際化施策の方向性について、事務局より説明。
    - (2) 意見交換
      - ・ 昨年の台風で避難が必要かどうかなど情報をどう得るかがわからない。防災無線もエコーが激しく聞き取れない。市からショートメールなどが届くといい。  
→ 災害時の情報提供は日本人にも届いていないという課題もあり、それに加え、多様な言語の外国籍の方にもどう伝えるか、対応を考えている。Twitter など SNS も使い情報発信をしていきたい。
      - ・ 危険な場所だけ知らせるのではなく、警報は出ていないという情報でいいので、HP や Twitter で発信すると良いと思う。
- 災害時、MISHOP は避難所ではなく、主に外国人に向けて情報発信を行う支援センターになる。
- ・ 携帯がなかったり、インターネットにアクセスできない方にはどのように情報を発信するか？ また、各所に設置している地図が有効的だと思うが、色が落ちて読めない状態のものもある。
  - 東日本大震災の時は 1 回だけ、高齢者のためにピラを町会や自治会を通じて配るということをしたが、どの程度の効果があったか不明。基本的に、今は普及率の高いネットが情報提供の軸になると思う。読めない地図看板については担当部署に伝え、確認する。
  - ・ 昨年、西部住協を中心に三鷹市の総合防災訓練を開いた。MISHOP の通訳を配置したが、外国籍市

民の参加は1人だけだった。外国籍市民の各国ごとのグループに連絡がつくような仕組みがあるといい。

→外国人の方のネットワークを上手く使えたらいいと思うが、行政側も把握が難しい。

・オリパラに向けて、外国人観光客のために多言語によるアナウンスなどが進み、住みやすくなった。オリパラ後も元に戻すのではなく、さらに改善されていくといい

・ラグビー・ワールドカップが三鷹市に何か影響はあったか。

→基本的には無い。都のオリパラ準備局が武蔵境駅からのシャトルバスを決めていて、三鷹駅からシャトルバスを出す要望は通らなかった。オリパラも同様だと思われる。三鷹のロータリーが狭いというのもある。

・海外からオリパラに来る見込客数は？

→ワールドカップに比べ、期限が短く競技が多いため、多くの観光客が見込まれるが、今のところ不明。味の素スタジアムでどのように開催されるか、都から情報提供がない状態。井の頭公園西園でパブリックビューイングをやるらしいので、そこを拠点として何かできないか市として考えている。

・ジブリは入場予約の上限があるが、オリパラ期間だけ海外の人向けの当日枠を設けて、三鷹を訪れてもらい、知ってもらえる機会があるといい。

・三鷹は文学散歩もある。オーガニックのキウイワインなど独自の土産をアピールしては。

→外国籍の方が三鷹にどういう形で来るかというシミュレーションができていないが、市の組織で観光などの部分を強化しようと考えている。

## 6 第11期議題について

(1) 資料3～7を基に円卓会議の概要およびこれまでの報告の説明。

(2) 意見交換（テーマ案出し）

・オリンピック後も、外国人が住みやすいまちを目指すために、環境整備を持続させる重要性について考えてはどうか。

・10期の内容に何かプラスして提言内容を充実させるという形でも大丈夫か。

→問題ない。

→先ほども議論したように、去年の台風で防災に関する意識が高まっていると思われるがそれについて話し合ってはどうか。

・図書館に各言語の図書コーナーを設置し、外国籍の方に親しみを持ってもらえるのはどうか。

→図書館に限定せず、体育館や生涯学習センターのような公共施設が親しまれるようにするにはどうすればよいかなど、大きいテーマを設定した方が幅広く議論できる。

・図書館に行くと、市のイベントなどのポスターが貼ってあるから、情報収集の場になる。

・昔は、在留カードを市役所でもらっていた。その際に防災マップなどの市の資料を貰っていた。今は入国管理局でもらうため、市役所に行く必要性がなくなっている。また、留学生が市のホームページをあまり見る機会がない。

・市のイベントや防災などの情報を伝えるために多文化共生センターを考えているのか？

→駅前の再開発の中で多文化共生センターをつくろうという程度で、まだどのような機能を持たせるかは決まっていない。基本的には国際交流協会が大きくなったようなイメージだが、市民目線でこういう機能があるといいという案などを皆さんから出してもらえれば、反映できるかもしれない。外国籍の方が住みやすく、また、日本人も含めた多文化理解をするための施設として、アイデアを出してもらいディスカッションするというのも面白いかもしれない。

・三鷹の魅力や食文化をより理解してもらうために年中行事や祭事の年間スケジュールのような情報をインターネットなどで発信し案内できる仕組みがあった方がいいのではないかと。

・今回でテーマを決めるのは難しいと思うので、今回話し合った内容を事務局で整理する。それを踏まえ、次回、大きなテーマを2つほど決め、毎回いろいろな角度から勉強会や見学をし、提言をまとめていきたい。

7 次回日程について

・令和2年3月中旬～下旬。確定次第、事務局からお知らせする。

8 その他

・新規委員にはショートスピーチを行ってもらおう。1人5～10分ほど話してもらい、それについて質疑応答する。今期は4人いるため、2回に分けて行う。

次回は、友部委員と李委員にショートスピーチをしてもらう。

以上